

# 城南支所

都産技研には、本部、多摩テクノプラザのほか、城東支所・墨田支所・城南支所と3つの支所があります。それぞれの支所の特徴や行っている支援・サービスについて紹介します。

城南支所長 上本 道久

## ■ 城南支所とは

大田区南蒲田にある城南支所は、大田区役所の産業部とその外郭団体である公益財団法人大田産業振興協会、公益財団法人東京都中小企業振興公社との複合施設内にあり、ものづくりに関するワンストップ・サービスの一翼を担っています。また、ものづくりに先進的・意欲的という管轄エリアの特徴から、「上流支援」「パイロットラボ」「中小企業の海外展開支援」にも力を入れています。

## 他機関との連携、地域に見合ったサービスで、城南エリア中小企業の成長をサポート

### 城南支所のエリアは、ものづくり先進地域

城南支所は、「東京なら大田、大阪なら東大阪」といわれる重要な中小企業の集積地・大田区にあります。日本が国際的にも強い精密加工分野のハイエンドな企業が多く、工場数、従業員、および工業出荷額の統計でも、大田区は例年上位を占めています。

そのため、城南支所では、機械的な測定、化学分析、試作加工を中心に技術支援を行っています。特に、試作品を早く・精度良くつくることのできる高速造形機は、非常によくご利用いただいています。特に、中小企業のお客さまは、短納期で多様な種類や形の部品をつくることが求められると思います。その最初の試作を城南支所がサポートしています。

もう一つは、破断面解析ができることも特徴です。物が壊れたときは、二度と同じことを起こさないように原因を解析する必要があります。破断面を電子顕微鏡で見て、どこの部分から切れたのか、何度も同じ箇所当たって切れたのか、もともと材質が悪かったのか…などを解析しています。他の公設試験研究機関ではあまりやっていないサービスなので、全国から依頼があります。



上本支所長

### 「上流支援」「パイロットラボ」「中小企業の海外展開支援」が城南支所のキーワード

城南支所として、今後さらに力を入れていきたいキーワードは3つあります。

「上流支援」は、製品や試作品をつくる前の段階でものづくりの企画・設計をサポートするものです。「パイロットラボ」とは、お客さまに機器をご利用いただき、試験的な製品開発と評価に効率的に役立てていただくというものです。



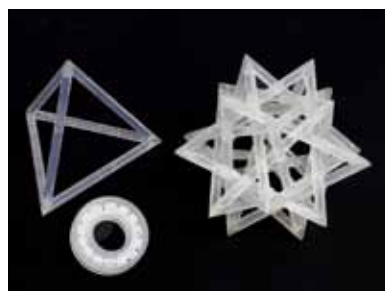
城南支所(外観)

先進的な高額評価試験機器は、中小企業に導入するのが難しい場合があるため、城南支所にある機器をご利用いただき、製品の評価を行うことで製品開発を促進します。「中小企業の海外展開支援」については、特に大田区の中小企業の多くはすでに海外に拠点を持っているなど、意欲的にグローバルビジネスを進めています。大田区の産業振興協会もサポートしていますし、都産技研でも、輸出相手国が指定する規格に合っているか、製品適合試験を行い、製品の海外展開をサポートしています。

地域に根ざしたという意味を追求していくと、この3つのキーワードに結実すると思います。地域のニーズに応えるのも城南支所の存在意義であると捉えています。

### プロダクトを製造できる企業へ成長を後押し

城南支所のあるエリアの中小企業の方の多くは、現在はパーツ製造が主ですが、将来的にはプロダクト製造を行う企業に成長することを目指しています。プロダクトをトータルに製造し販売する方が、パーツ製造のみと比べ利益率も高いですし、今後、生き残るために必要な選択であるという認識が広まっています。このようなニーズを踏まえ、城南支所としても測定・分析・試作加工のサービスは継続して提供しながら、多様な外部機関とも連携・協力して、「上流支援」「パイロットラボ」「中小企業の海外展開支援」に積極的に



高速造形機で出力した試作品

取り組むことで、企業の技術力を高め、持続性のある産業活動を発展させられるよう、支えていきたいと考えています。